

米倉兌の世界 奥の細道を歩く

ヨリ下也ソレヲ渡シハ十四丁
ニテ瀬ノウエ也

米倉兌「月の輪の渡」(紙、墨彩)

会 期 第Ⅰ期 令和7年7月26日(土)～8月17日(日)

第Ⅱ期 令和7年8月26日(火)～9月23日(火)・(祝)

※ 8月18日(月)～8月25日(月) 作品の一部入れ替えを行います

開館時間 9:30～17:00 (最終入館は 16:30)

休 館 日 7月28日(月)、8月4日(月)、12日(火)、
8月18日(月)～25日(月)【展示替え休館】
9月1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)

料 金 一般 500 円、高校生以下無料

会 場 伊達市梁川美術館 2 階展示室

主 催 伊達市梁川美術館 (伊達市教育委員会)

関連イベント開催!

- ・ギャラリートーク
- ・長谷寺(保原)経蔵内
米倉兌制作壁画
特別公開

詳しくは裏面にて



太田良平「枯野」
1975 年(木彫)

画家・米倉兌（よねくらとおる）は県北地域の高校で美術教諭として勤務する一方、油彩や水彩など多数の作品を制作しました。晩年に手掛けた墨彩作品は、和紙ににじむ墨の柔らかな風合いが詩情にあふれ、多くの人の心をつかみました。なかでも「奥の細道」をテーマにした墨彩作品の人気は高く、日本橋三越本店美術ギャラリーでの個展のほか、観光パンフレットや国語の資料集などにも採用されるほどでした。

また、当館開館のきっかけとなった彫刻家・太田良平も自身の制作活動の傍ら松尾芭蕉研究に勤しみ、木彫やブロンズで多くの芭蕉像をつくりました。

没後 25 年となる米倉兌の画業を改めて振り返りながら、絵画と彫刻から「奥の細道」の世界にひたる展覧会を開催します。旅の楽しさと歴史のロマンにひたってみませんか。



米倉兌「旅立」(紙、墨彩)



左/米倉兌「飯塚」(紙、墨彩)



中央/米倉兌「大木戸」(紙、墨彩)



右/太田良平「旅立ち」1975 年(ブロンズ)

館内ギャラリートーク①・②

- ①「奥の細道と米倉兌の世界Ⅰ」 8 月 2 日(土) 13:30 ~ 参加費 / 無料 (当日の展覧会チケットが必要です)
 ②「奥の細道と米倉兌の世界Ⅱ」 9 月 20 日(土) 13:30 ~ 参加方法 / 当日、展覧会チケットをお求めのうえ展示室までお越しください

長谷寺(保原)経蔵内 米倉兌制作壁画 特別公開&ギャラリートーク

場所 / 長谷寺 (保原町 5 丁目 30)

日程 / 9 月 14 日(日)

時間 / 経蔵特別公開 午前の部 10:00 ~ 12:00
 午後の部 13:00 ~ 15:00

ギャラリートーク 13:30 ~ 30 分程度

参加費 / 無料
 参加方法 / 事前申込不要・公開時間中の好きな時間にお越しください。
 ※駐車台数に限りがあるため、自家用車で越しの場合は複数人での乗り合わせまたは公共交通機関でのご来場にご協力をお願いします

おしゃべり美術館

大きな声でお話しをしながらの鑑賞 OK! お気軽にお越しください

開催日 / 8 月 2 日(土)、9 月 20 日(土)

常設展 特別展示のご案内「赤間香土の世界」7 月 26 日(土)~12 月 26 日(金)

常設展示室では彫刻家・太田良平の作品とともに特別展示コーナーを設け、伊達市ゆかりの作家の紹介を行っています。

今回は保原出身の肖像画家であり南画家の赤間香土(1912-2002)を特集します。細部まで緻密に描かれた肖像画や雄大な風景を描いた南画など、ひとりの作家から生み出された多彩な作風をお楽しみください。

赤間香土「春雪富士」1987 年



伊達市梁川美術館 Yanagawa Museum Of Art

〒960-0782 福島県伊達市梁川町字中町 10

TEL/024-527-2656 FAX/024-573-1990

休館日…毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始

(12 月 28 日~1 月 4 日)

交通のご案内

- 阿武隈急行「梁川」駅 徒歩 20 分
 - 福島交通バス「梁川 中町」バス停 徒歩 2 分
 - 東北自動車道国見 IC から車 15 分
 - 東北中央自動車道伊達中央 IC から車 20 分
- ※当館南側のお客様専用駐車場をご利用ください。
 満車の場合、梁川中央交流館駐車場をご利用ください。



伊達市梁川美術館

Q 検索

